高中生としてのこころがけ

こんな生徒になってほしい 1.

校訓『自覚』

自主ーよく考え自ら学びたくましい心身の持ち主になる 敬愛一家族 長上 先輩を敬い友達と親しくする 実行ーよいことは進んで協力し最後までやりとげる

《学校教育日標》

「『大人になるための学校』高台中学校」

【日指す生徒像】

- ☆ 自他を尊重し、他者と協働する生徒
- ☆ 自分の良さを生かして、計画的に粘り強くやり通す生徒
- ☆ 課題を見つけ、自分で考えて解決する生徒
- ☆ ありたい自分を常に考え、成長した自分を認めつつ、時と場により目標の変更や調整 ができる生徒

中学生は、心身ともに子供から大人へと大きく変化する大切な時期です。『大人になるための 学校』高台中学校で、よく考え、自ら学び、周囲の人を敬い、協力してやり遂げることを心が け、前向きに社会を生きていく人に成長しましょう。

また、学校は集団生活を学ぶ場でもあります。他者を尊重し、「自分がされていやなことは人 にしない、言わない」ことを約束とし、お互いに気持ちよく楽しく学校生活を送れるように、 心がけましょう。

2. 一日の生活の流れ

【朝】8:00~8:15登校

ジャージ(体操服)に着替え、高中ナップをロッカーにしまいましょう。

8:20までに着席→出席確認 できないと遅刻になります。

【授業】

8:35~ 3分前入室→2分前準備・着席→1分前黙想

(教室移動時の施錠は、各クラスの担当で)

【給食】私語をしない!マスクを着用!

- ※休み時間ではなく、給食の準備時間。素早く行動しましょう。 12:25~
 - ①当番は白衣を着て、教室前で整列します。配膳室まで給食委員が引率し、 担当の先生にクラス名を言って、給食を受け取ります。
 - ②給食委員(班)は、配膳台を準備します。牛乳を取りに行きます。
 - ③ほかの生徒はマスクを着用し、手を洗い、着席して待ち、許可をもらって から配膳をしましょう。
- ※あいさつが終わるまでは教室内にいましょう。 13:00 → 給食終了
 - ①「ごちそうさま」のあいさつの後、手際よく片付けます。
 - ②給食当番は、全員の食器が返却されたことを確認します。 給食委員が、片づけの最終確認をします。
- 13:05 → 給食当番は教室を出発し、給食の片づけをします。





13:20 予鈴 → 3分前入室 → 2分前準備・着席 → 1分前黙想

13:25 授業開始

【清 掃】 **黙働清掃!** 火・金 15:20~15:30

心を込めて学校をきれいにしましょう。



【クラスタイム】 月14:25~ 火・金15:40~ 水・木15:25~

- ①授業(掃除)後、制服に着替え(部活動がない場合)教室で自分ログを記入します。チャイムとともに黙想しましょう。(机の上に荷物を置かない。)
- ②あいさつ後、下校します。

【部活動 完全下校】

月	4	5	6	7	8	9		10	11	12	1	2	3	
時	18:15 18:30				18:15(新人戦まで)			17:30	17:15		17:30	17:45		
備考	1 年生 1 ⁻	7:30	1 年生も2,3年生と同様の時間			9月以	9月以降、3年生の部活動参加は原則認めない。(駅伝部を除く)							

3. ルールを守って楽しい生活

- ①服装、頭髪などの身なりについて
 - 高台中学校指定の制服を着用します。

(ベスト・リボンは、自己判断で着用)

※防寒具として、スクールコート、ウィンドブレーカー、タイツ、レギンス着用可

※様々な理由により制服着用ができない場合は、学校へ相談しましょう。

- 中学生らしい髪型にします。
 - → 学校生活にふさわしい髪形を自分で選択する。(生活上支障がないようにする。他人に不快感を与えない。)注意:他人に威圧感を与えるような脱色、染色、髪型は禁止とする。(第61代生徒会による改定)
- ②持ち物・学習用具について学習に不必要なものは持ってきません。
- ③廊下階段の歩行について 歩いて通行しましょう。
- 4学習態度について

不必要に離席することはせず、その時間の学習課題をしっかりと解決させ、内容が定着するように努めましょう。

4. その他

遅刻した場合・・・職員室に寄って学年の先生に報告、遅刻連絡カードを書いてもらいましょう。

保健室を利用する場合

- • 保健室利用カード(教室保管)を担任(教科担当)の先生に記入してもらい、それを持って保健室へ行きましょう。
- 早退した場合・・・一人で帰宅した場合は、学校に必ず帰宅確認の電話をしてください。決められた通学路を守って安全に下校しましょう
- ※事情があって授業に出なかったり、抜ける必要があったりするときは担当の先生に事情を説明して、許可を得るようにしましょう。授業が第一です。授業の中で新たな学びを得るように、 授業の時間を大切にしていきましょう。